



# 議会 だより

# 千早赤阪

## 一般質問

**山形 研介**

金剛山の賑わいについて  
新庁舎建設事業について

**関口 ほづみ**

医療費助成の拡充・通学バスの無料化を  
国保料の府下統一化に反対を  
自衛隊募集に関する名簿提出要請に拒否を

**千福 清英**

村の福祉施策について  
就学援助について

**田村 陽**

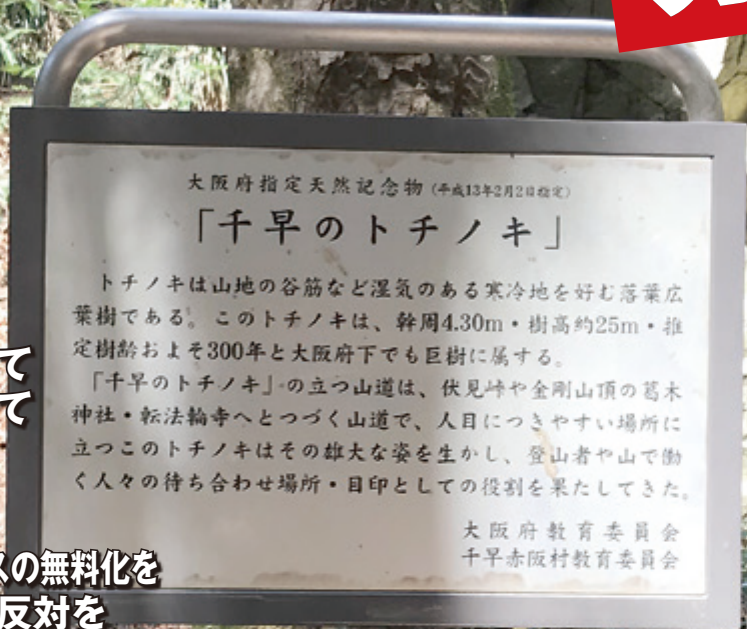
情報漏洩が審査結果に与えた影響は  
村内に児童虐待事案は

**井上 浩一**

地区防災の現状  
小児がんの早期発見について

**藤浦 稔**

富田林市との広域連携等について  
学童保育の設置について



vol. **128**  
May 2019  
3月定例会

## 3 月定例会 議決結果

### ○賛否の分かれた議案

各議員の審議結果 (○賛成、●反対、△除斥、 ／審議不参加、一議長、欠欠席)	結 果	田 中 博 治	関 口 ほ づ み	井 上 浩 一	田 村 陽	千 福 清 英	藤 浦 稔	山 形 研 介
・平成 31 年度千早赤阪村一般会計予算	原案可決	—	●	○	○	○	○	○

### ○全会一致の案件

・監査委員の選任について
・専決処分（南部大阪都市計画森屋北西部（I）地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて
・専決処分（平成 30 年度千早赤阪村一般会計補正予算（第 11 号））の承認を求めることについて
・平成 28 年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計予算（追認）
・千早赤阪村議会委員会条例の改正について
・千早赤阪村一般職非常勤職員等の任用、勤務条件等に関する条例の改正について
・千早赤阪村ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の改正について
・千早赤阪村ちびっこ広場設置条例の改正について
・千早赤阪村廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の改正について
・千早赤阪村国民健康保険条例の改正について
・千早赤阪村消防団条例の改正について
・村道路線認定について
・平成 30 年度千早赤阪村一般会計補正予算（第 12 号）
・平成 30 年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）
・平成 30 年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第 3 号）
・平成 30 年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）
・平成 30 年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）
・平成 30 年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計補正予算（第 3 号）
・平成 31 年度千早赤阪村国民健康保険特別会計予算
・平成 31 年度千早赤阪村介護保険特別会計予算
・平成 31 年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算
・平成 31 年度千早赤阪村下水道事業特別会計予算
・平成 31 年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計予算
・千早赤阪村立いきいきサロンの指定管理者の指定について
・特別職の職員の給与に関する条例の改正について
・千早赤阪村国民健康保険条例の改正について
・平成 30 年度千早赤阪村一般会計補正予算（第 13 号）
・平成 30 年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計補正予算（第 4 号）
・平成 31 年度千早赤阪村一般会計補正予算（第 1 号）
・動産の取得について



村議会議長  
**田中博治**

村民の皆様におかれましては、平素より議会活動に際してご理解とご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

平成に代わる新しい元号は「令和」（れいわ）に決まりました。

菅官房長官が4月1日記者会見後に発表され、奈良時代に完成した日本に現存する最古の歌集の「万葉集」を典拠とされたそうです。日本で記された国書を典拠とする元号は、最初となります。「令和」は248番目の元号で令の字が使われるのは初めてで、和は20回目となり、アルファベットの頭文字での表記は「R」となります。

これまで平成最後の行事では、大相撲春場所では平成最後の本場所が白鵬関が15度目の全勝優勝を飾りました。

もう一つは、平成最後の春の高校野球大会では、全国から集まった32校が熱戦を繰り広げました。

また、前号の議会だよりの雑感を見ると、一番長かったのは昭和の64年で明治が2番だそうです。

この議会だよりが配布される予定の5月1日は皇太子さまが新天皇に即位される日でもあります。

一日でも長く続く「令和」の時代でありますように。

## 今月の表紙



千早 **堂上 空** くん  
(どのうえ そら)  
1才2ヶ月

すくすく元気に育ってね

父：武詩さん 母：綾さん

### 全員協議会

3月14日

#### 1、請負契約報告

水分・二河原邊地区の污水管渠布設工事、東阪地区の舗装工事について報告が行われた。

#### 2、監査結果報告

住民課、健康福祉課、観光・産業振興課を対象とする監査が行われた。概ね適正に執行されているとのことであったが、問題点も散見された。

#### 3、今後の下水道事業

赤字補てんとして約6千万円が支出されており、今後は赤字幅縮小と合併浄化槽への転換を検討する旨が報告された。

#### 4、財政収支見直し

村税は今後も減少を続け、平成39年度には基金が1億円程度にまで減少するとの見通しを示された。

#### 5、平成29年台風21号災害復旧について

倒木や落石の利活用について報告があった。



#### ●倒木利活用の一例

昨年5月に開催された「中之島まつり」にて台風災害時の倒木を利用した丸太切り体験イベントが実施された。

# 表紙写真 大募集!!

千早赤阪村議会だよりの表紙を飾っていただける  
お子様の写真を募集しています。

#### 【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真。(複数人でもかまいません。)

#### 【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話または E-mail にてご連絡ください。

☎ 0721-72-0081 (代) E-mail iken@vill.chihayaakasaka.lg.jp



## 金剛山の賑わいについて



## 村全体での賑わいづくりに務める



### 山形研介 議員



ロープウェイ駅舎

**問** 金剛山ロープウェイが3月15日から運休されているが、現在どのような状況になっているのか。また、金剛山の賑わいづくりについては。

**答** 年間登山者数100万人を誇る金剛山の観光主要施設であるロープウェイは、この度、昨年の災害状況を鑑みて耐震診断を実施したところ、金剛山駅の待合室のコンクリート強度が著しく低いという中間報告があり、安全確保の観点から運行を停止した。一方で金剛山の賑わいづくりは、今年度は、ちはや園地で常に雪遊びができる

よう、指定管理者において人工降雪機を導入、また、婚活イベントの復活をさせた。今後、ログハウスでの物資販売の充実を予定している。さらに、道の駅や森林組合など村内各施設でのイベントも開催予定で、村全体での賑わいづくりにも努める。

ロープウェイの運行については、耐震診断の最終報告が出る5月末頃の結果をもとに再開が可能であるのかどうかを判断する。

**問** 観光客にとっては、「そこにいかなければならない」という目的意識をもってもらうための施策は。

**答** ハード面だけを考えるのではなく、ソフト面を充実させることが重要。その際、ロープウェイの指定管理会社だけでなく、観光協会等とよく議論し、中身を作り上げていく必要がある。

**問** 今年度に入って本格的に動き出したが、村民からも「村らしさを感じられる」庁舎を求める声がある。外観や内装についてどのように検討していくのか。



村庁舎

**要望** 村のシンボルであるロープウェイの運行再開は村の活性化につながる観光事業ゆえ全職員一丸となりこの事業を引き続き進めていくように。

### 新庁舎建設事業について

**要望** 実施設計を進める上での最初の課題である。

**答** 新庁舎の外観については、周辺の景観に馴染むものであると同時に、内装材を中心とした木の温もりを感じられる村らしい新庁舎の実現に向けて、庁舎建設検討委員会及び特別委員会において、検討を進めていく。

**要望** 新庁舎建設に向けての工程が順調に進んでいくことを願いながら、将来世代のため維持管理のしやすい庁舎の実現を旨とするを要望する。

# 問

## 医療費助成の拡充・通学バスの無料化を

# 答

## 対象拡大は考えていない バスの無料化は総合的に検討したい



### 関口ほづみ議員



小吹台からの通学バス

**問** 大阪府下での子ども医療費助成は、4月から9市町で高校卒業まで助成される。河南町では22歳まで助成される。村は子育て世代の転入もあり、18歳まで拡充す

ることを求める。

**答** 小吹台から中学校までの通学バスは、1ヵ月6500円の負担だ。今年10月から幼児教育の無償化が国制度で実施される。この際、医療費助成の拡充と通学バスの無料化を求める。

**答** 多子世帯の保育料軽減、給食費補助に加え、平成31年4月から新たに、紙おむつ購入助成なども行う。医療費助成拡充は現時点では考えてい

ない。

通学バスは、保護者から無料化に関する陳情があったが、通学定期での利用者が非常に少ない中、受益者負担の必要性も含め、総合的に検討したい。

**要望** 高校になると、受診も減り、村の費用は極端に増加しない。通学バス利用者負担を軽減することなども検討すべきだ。

### 国保料の府下統一に反対を

**問** 平成30年より国保は都道府県と市町村が運営し、保険料を府下統一する計画だ。全国で統一の動きは大阪府だけだ。村の保険料は府下5番目に安い。統一された場合、引き上がるのではないか？

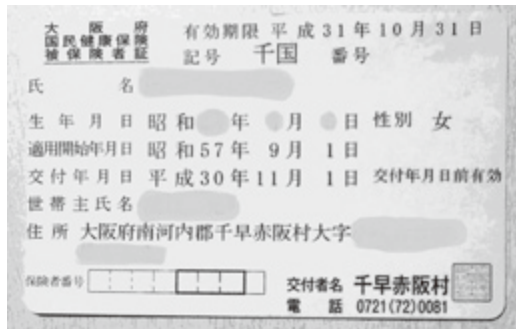
**答** 府下統一保険料に反対することを求める。平成31年度保険料は

### 自衛隊募集に関する名簿提出要請に拒否を

据え置きとした。今後の保険料設定は財政調整基金残などを鑑み、村国保運営協議会に意見を求め設定する。統一保険料については、人口減少・高齢化など課題を抱える中、非常に厳しい財政状況となる事が予測できる。今まで同様賛成の立場である。

**答** 15歳と18歳の閲覧申請があり行っている。自衛官及び自衛官候補生の募集に関して今後要請があれば、法令に基づき必要な協力を行う。

**要望** 自衛隊の災害復旧や人命救助活動など、信頼される頼もしい職業として自ら希望するものを否定するものではない。個人情報保護の観点から、閲覧のみとすること。



国民健康保険証



## 問 村の福祉施策について



## 答 多様化する福祉ニーズに対しての体制を強化



千福清英 議員



介護予防体操の様子

**問** 村の高齢化率は府下で一番高くなっている。第7期の高齢者福祉計画や介護保険計画が策定されているが、今後の更なる強化が必要と考える。

具体的な対応を伺う。  
反面、少子化がますます進む中、子育て支援機能拠点としての準備、進め方を伺う。

**答** 近年は認知症高齢者の相談件数が年々増加しており、一人での生活が困難になり、身の周りの管理ができないケースがある。住民の権利擁護の観点から成年後見人制度の推進を図っている。また平成31年4月から

専門職である社会福祉士2名を正職員として村で採用し、体制の強化と地域包括ケアを推進していく。

子育て支援機能については関係機関が連携し、重層的に切れ目のない支援の実施が重要となっている。情報の提供、相談の支援など、妊産婦から子ども、保護者を対象とした総合支援拠点の設置を平成32年4月から行う予定である。

**問** 成年後見人制度と子育て支援拠点の機能についての説明を願う。

**答** 成年後見人制度は認知症など判断能力の低下が認められる場合、法定の後見人により財産などの管理を行い、本人の保護を図るもの。  
子育て総合支援拠点は3つの機能があり、一つ目は子育て親子の交流の場や相談、援助の実施。二つ目は妊娠から出産、



あそびの教室「きしゃぼっほ」の様子

子育てに関する助言、保健指導の実施。三つ目は児童虐待への対応や児童相談所との連携を行うもの。

**要望** 村は、ますます少子化や核家族が進む中、地域住民へのサポートや制度の周知など、的確な対応を願う。

### 就学援助について

**問** 就学援助の中の入学準備金の支給時期は7月になっており、入学のための準備ができない状況である。早期の支給を求

める。

**答** 就学援助制度は、公立の小中学校に就学する児童生徒が楽しく勉強できるよう、学用品・給食等の費用に困っている保護者に対し、その費用の一部を助成する制度である。

これまで、入学後に、所得の確定後7月に支給となっていたが、必要な援助を適正な時期に実施するため入学前の3月までに支給する。

**要望** 今後、支給に向け、制度の案内、説明と漏れないよう親切丁寧な対応を願う。



## 田村 陽 議員

### 問

情報漏洩が審査結果に与えた影響は

### 答

影響はなかったと認識している

**問** 金剛山ロープウェイ指定管理者選定に関する情報漏洩についての報道があった。職員が事業者に非公開情報を送信したとのことだが、この情報漏洩によ



金剛山ロープウェイ（現在は停止中）

て不当に有利な提案が行われたのではないか。

**答** 報道された情報漏洩とは、公開約2週間前に信越索道メンテナンス株式会社から募集要項がメール送信されていた一件である。

しかしスキー場でリフト等の運営管理に実績がある信越索道メンテナンスには、すべての委員が高い点数をつけており、事前に募集要項を知りえたことが審査結果に与え

た影響はなかったと認識している。

**問** 記事を読む限りは、指定管理者を迂回して建設会社に便宜供与したのではないかとの印象すら受けるが。

**答** ①職員本人は応募した2社の点数にあまり差をつけていない、②情報漏洩が運営体制や専門職の配置に影響したとは考えられない、③職員は資料をそのまま後任者に引き継いでおり隠蔽などの形跡がない、などの点から職員に悪意はなかったと考えている。

**問** 今回の一件の要因は。  
**答** 「指定管理者が決まらなければロープウェイが運行できない」という焦りが背景にあった。村を思うあまり一線を越えてしまったのではないか。

だが組織としての課題もある。上司によるチェック機能が働いておらず、部下に任せきりになっていた。同じ課に11

年在籍するなど人事異動の硬直化も要因。また、コンプライアンス、法的基礎知識、実務に即した研修も少ない。

**要望** 行政としても、今回の情報漏洩を組織の問題として捉え、村長を筆頭に、鋭意改善に取り組むよう強く要望する。

### 村内に児童虐待事件は

**問** 千葉県野田市にて小学四年生の女子児童が虐

待を受け死亡に至った事件が報じられている。女子児童の心中を思うと痛切の極みというほかない。そこで本村においても児童虐待は発生しているのか伺う。

**答** 本村でも児童虐待事件は発生しており、20名の児童に対して見守りや支援を実施している。

**要望** 本村で不幸な事件が起こることのないよう、子どもの安全を最優先に対応してほしい。



大阪府 / 富田林子ども家庭センター

# 問

## 地区防災の現状

# 答

## 啓発を続ける



### 井上浩一 議員



村でのセミナー

**問** 各地区による防災計画の策定のため、取り組み中と思うが、これまでの経緯と現状を伺う。また地域が主体的に課題解決をできるようにどう進め

**答** 各地区による防災計画の策定のため、取り組み中と思うが、これまでの経緯と現状を伺う。また地域が主体的に課題解決をできるようにどう進め

**問** 非構造部材の耐震化は文科省のガイドブックに基づき対応している、避難所はくすのきホールが適合しない可能性があり改修に併せて対応する。  
**答** どのように促進・啓発しているのか。結成済み地区の現状は。  
**問** 新たに結成された地区に防災用品の購入助成をしている。すでに結成済みの地区では防災訓練や警報時には土のう・ブルーシートの設置等の活動をしている。  
**答** 更なる普及・啓発を願う。施設等の点検は専門職の定期点検も検討願う。

### 小児がんの早期発見について

**問** 国では小児の死亡原因の第1位はがんであり、村での早期発見の取り組みを伺う。  
**答** 15歳未満のがんは他の世代と比較して患者数



が少なく多種多様で診療等の知見が蓄積されにくい。村では健診医の質の向上を要望、研究費を助成している。健診では医師による診察と身体発育等を総合的に判断し、精密検査が必要な場合は専門医の紹介、必要に応じ保健師が同伴受診するなど、受診状況と結果の確認等を行っている。  
**問** 網膜芽細胞腫という小児特有の眼のがんは、5歳までに95%が診断され、家族が目異常に気がつく。  
**答** 網膜芽細胞腫は白色瞳孔や斜視が現れる。これらをチェックすれば早期発見できる。保護者への指導、健診でのチェック等を的確に願う。





藤浦 稔 議員

# 問 富田林市との広域連携等について

## 答 十分な議論が必要



富田林市役所

**問** 村は過去2回、富田林市などとの合併が議論されたが至らなかつた。しかし本村では、急速な人口減少・高齢化等により行財政運営は厳しさを増し、住民サービスを安定的に提供し続けることが難しくなる。

**答** 近隣市町との広域連携や合併も選択肢の一つとして考える。合併には住民も賛否両論あると理解するが、我々議員も難しい選択をする必要がある。

富田林市とは、消防・医師会・警察署など様々な分野で結びつきがあるが、今後は村の将来展望や姿などについて、どのように議論されるのかを伺う。

**答** 大阪府の報告書によると行財政基盤の脆弱な自治体では、将来的に行

政水準が低下し、住民サービスを安定的に提供することは困難となる。現在の自治体の枠組みを前提とする広域連携での対応には限界がある。

過去2回の合併協議が失敗に終わり、改めて議論を始めるには、住民などの機運の醸成が不可欠であり、合併も含めあらゆる選択肢を念頭に、議論が必要である。

**問** 村長の村政運営方針では、行政の広域化の成果の検証もいつつとあるが、広域化では不都合や今後取り組みたい業務等はあるのか。

**答** 清掃や消防ではコスト削減の一方、各団体の意向が反映されにくい。より効果的な手法となれば合併も選択肢の一つ。

ただ、仮に合併となれば、住民理解などの機運の醸成・理事者・議会とも極めて厳しい覚悟が必要である。

**要望** 広域的な取組みについて積極的な協議をしていき、村民のため、また次世代につけを残さないよう取り組んでほしい。

### 学童保育の設置について

**問** 村長の村政運営方針でも赤阪小学校に学童保育を設置すると述べられ、31年度当初予算に300万円が計上されている。

今後、どのようなスケジュールで、赤阪小学校への学童保育を設置する

のかを伺う。

**答** 赤阪小学校でも学童保育の設置を求める声が多く寄せられ、村としても32年度の実施に向け、実施設計業務委託料を31年度当初予算に計上した。学童保育の運営について、千早赤阪村学童保育連絡会での運営をお願いできないか連絡会とも今後協議していく考えである。

**要望** 設置に向けて前向きに取り組んでいるようだが、学校関係者も積極的に取り組んでもらいたい。



赤阪小学校

# 研修報告

研修日 平成31年2月21日  
研修施設

## ①南河内環境事業組合

### 第一清掃工場

昭和45年に建設され、村は2年後に組合に加入し、7市町村での運営となる。昭和57年よりの建替工事により、焼却処理能力が増強され24時間運転で300tとなる。

平成8年に、組合議会においてごみ非常事態の宣言により府下で初めてのごみシール制が実施となった。現在は、6市町村の構成となっている。

## ②南河内環境事業組合

### 資源再生センター

昭和42年にし尿処理施設が完成、その後村が加入し、6市町村での運営となる。

処理能力は、1日当たり、し尿が104kl、浄化槽汚泥96klである。環境にやさしい施設であり汚泥は発酵肥料として無料で近隣の方に提供され、開かれた施設として運営されている。



千早赤阪村議会だより

2019年(令和元年)

5月1日発行

## 雑感

4月から新年度が始まりました。村でも幼稚園や小学校・中学校の入園式・入学式が行われました。

幼稚園には3歳児4人が入園し、小学校2校に28人、中学校には35人が入学しました。「村の宝」である子どもたちがいきいき、のびのび育つてほしいと心から願います。

しかし、子どもたちを取り巻く環境はとても厳しい現実があります。

千葉県の子供4年生の児童や東京の5歳児の虐待

## 議会を傍聴

しませんか？



### 次回定例会の予定

6月4日(火)から6月26日(水)です。  
6月4日 本会議  
6月26日 本会議(一般質問)  
開会時間はいずれも午前10時です。  
このほか、各委員会なども開かれます。

(議会事務局 ☎0721-72-0081代)

議会事務局は保健センター2階、議場は3階集団指導室兼議場です。

### 広報編集委員会

委員長	山形研介	副委員長	田村 陽
委員	千福清英	委員	井上浩一
議長	田中博治		

H・S

〒585-8501 大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分180

☎0721-720081 FAX0721-721880

千早赤阪村ホームページ <http://www.vill.chihayaakasaoka.osaka.jp/>